

自然情報継続調査について

1 R5 までの調査

調査	確認種数	備考
既存調査(H21～26)	5,381 種	レッドリスト選定種：465 種 ブルーリスト選定種：285 種
レッドリスト改訂追加調査 (R1～3.10月)	2,491 種	レッドリスト選定種：420 種 ブルーリスト選定種：276 種
岐阜市の自然情報継続調査 (R5～6.3月)	581 種 (新規確認 5 種)	

【R6 の調査体制・方針等】(予定含む)

9 分類群 8 部会を設置し、各部会ごとに**定点における調査、種を絞った調査**など、効率的な調査により、**本市の生物多様性の状況**を把握する。

2 R6 の各分類群の調査結果(中間)

調査分類群 現行調査	調査方法・場所	調査結果(中間)
植物	・達目洞周辺を中心に調査を実施 ・キキョウ、オミナエシ、スズサイコ、トリアンショウマ、カキツバタなど の確認を目指す。	・新規外来種を 2 種(達目洞で ヒロハフウリン 、 ホオズキ 、岩地で ウチワゼニクサ) 確認
哺乳類	・対象種は岐阜市版レッド・ブルー2023 掲載種など ・岐阜市内全域で調査を実施	・石谷に設置した巣箱(1 個)で ムササビ が繁殖 ・市内河川敷でジネズミ、特定外来生物である アライグマ を確認
鳥類	・対象種は岐阜市版レッド・ブルー2023 掲載種など ・主に岐阜市木田の河川に囲まれた田畑・雑木林、水田地帯で調査を実施	・古津谷で環境省レッドリスト 2020 絶滅危惧 I B 類である ヤイロチョウ 、金華山で ハヤブサ の繁殖を確認
爬虫類	・対象種はニホンイシガメ、その他カメ類 ・既往調査でニホンイシガメの記録がある岐阜市北西部で調査を実施	・岐阜大学構内河川から新堀川の調査で ニホンスッポン 、 クサガメ 、 ミシシippアカミミガメ を確認。 ニホンイシガメ は未確認 ・継続防除により、岐阜大学周辺では ミシシippアカミミガメ の減少を確認
両生類	・ニホンアカガエル、ヤマアカガエルなどのカエル類など ・岐阜市北部を中心に調査を実施	・ ニホンアカガエル 、 ヤマアカガエル 、 アカハライモリ の確認地点が減少 ・ アズマヒキガエル は産卵個体が増加した地点があるが、繁殖地点は減少
魚類 甲殻類	・魚類は在来種のカワバタモロコ調査、外来種のコクチバス調査(シュノーケリング) ・甲殻類は在来種のみナミテナガエビ、外来種のチュウゴクスジエビ等の調査	・特定外来生物である コクチバス の侵入による生物多様性への影響を懸念 ・長良川本川において コクチバス を確認 ・長良川でボウズハゼが増加傾向
昆虫類	・対象種は岐阜市版レッド・ブルー2023 掲載種など ・岐阜市内全域で調査を実施	・金華山～三峰山では ギフチョウ は未確認(市内北部では確認) ・長良川ふれあいの森で特定外来生物である アカボシゴマダラ を確認
貝類	・対象種は岐阜市版レッド・ブルー2023 掲載種など ・岐阜市内全域で調査を実施	・ キュウシュウゴマガイ 、 コベソマイマイ 、 ヒルゲンドルフマイマイ 、 マメマイマイ などを確認 ・長良雄総で新たに希少種である アズキガイ を確認

3 R6 の調査結果(中間)から判明したこと

- ・温暖化により生息範囲が拡大し、個体数が増加した種(ボウズハゼなど)を確認した。
- ・もともとの個体数が少なく、かつ、個体数の減少が懸念される種(ハヤブサなど)について、繁殖が継続していることを確認できた。
- ・一方、個体数の減少が懸念される種の中で、確認地点が減少した種(ニホンイシガメなど)があった。

4 確認された主な種



鳥類調査

(環境省レッドリスト絶滅危惧 I B 類**ヤイロチョウ**を確認)
(梶浦氏撮影)



植物調査

(岐阜市レッドリスト絶滅危惧 II 類**カキツバタ**を確認)
(室伏氏撮影)



魚類調査

(増加傾向にあるボウズハゼ)
(向井氏撮影)



昆虫類調査

(特定外来生物**アカボシゴマダラ**を確認)
(市民提供)

5 調査結果などの報告

- ・分類群ごとの調査結果とともに「生物多様性に迫る 4 つの危機」に関する考察、生物多様性に関する新たな知見などを含めた報告が提出される。
- ・調査結果などの報告は、「岐阜市生物多様性プラン」の改定に向けて活用する。

6 今後の自然情報継続調査について

- ・岐阜市の生物多様性の状況を把握するため、令和 7 年度以降も調査を継続する。